

令和5年度第2回 島田市国民健康保険運営協議会

令和6年2月26日（月） 13：30～

島田市役所3階大会議室

審議事項

第3期島田市国民健康保険データヘルス計画等の案について P1

報告事項

- ①令和6年度島田市国民健康保険事業特別会計当初予算（案）
について P2～6
- ②令和4年度特定健診（法定報告）について P7～8
- ③静岡県国民健康保険運営方針改定の進捗状況について P9
- ④国民健康保険税率設定について P10
- ⑤令和4年度医療費分析の結果について P11～12
- ⑥減塩普及啓発事業の実施状況について P13

【審議事項】 第3期島田市国民健康保険データヘルス計画等の案 について

データヘルス計画とは・・・

医療情報や健診結果の情報等のデータ分析に基づき、PDCAサイクルで効率的・効果的な保健事業を実施する取り組み。国により保険者に策定が義務付けられている。

島田市では、第3期島田市国民健康保険データヘルス計画に第4期島田市国民健康保険特定健康診査等実施計画を含有して策定

計画期間：令和6年度から令和11年度までの6年間
3年目に中間評価、6年目に最終評価

今計画のポイント

広く「生活習慣病」に係る健康課題を基に保健事業全般を網羅した計画とするよう見直し

【報告事項】

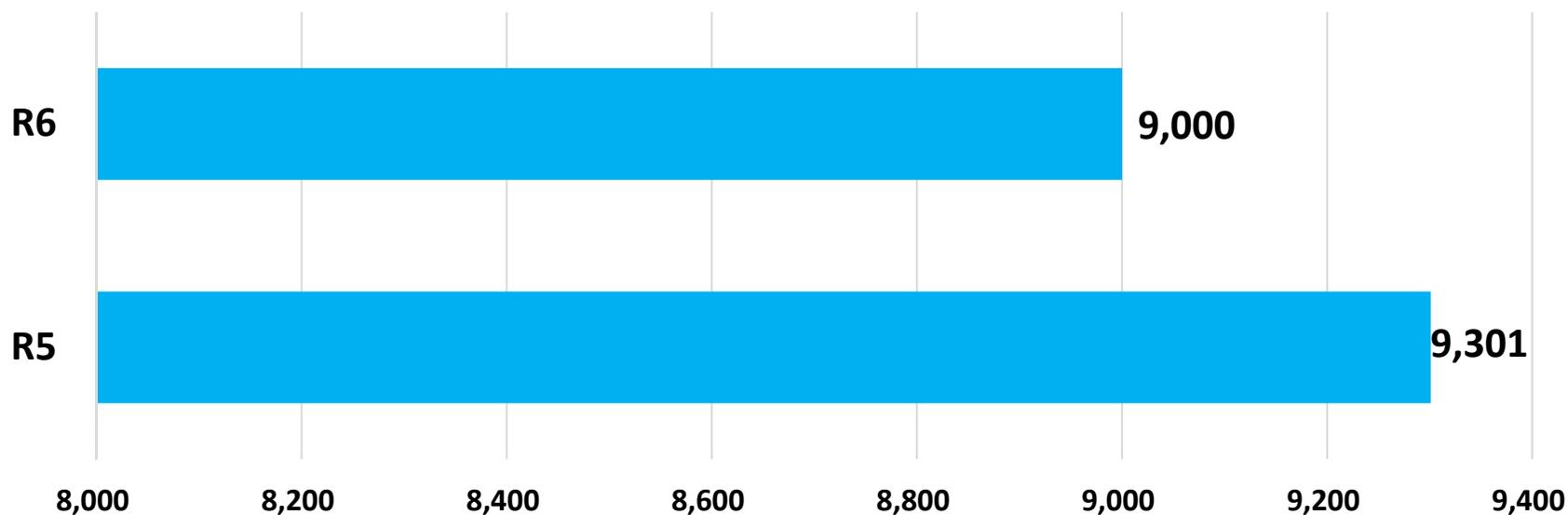
①令和6年度島田市国民健康保険事業特別会計 当初予算（案）について

【予算総額の前年比較】

令和6年度	89億9,985万8千円
令和5年度	93億113万0千円
増減	▲3億127万2千円

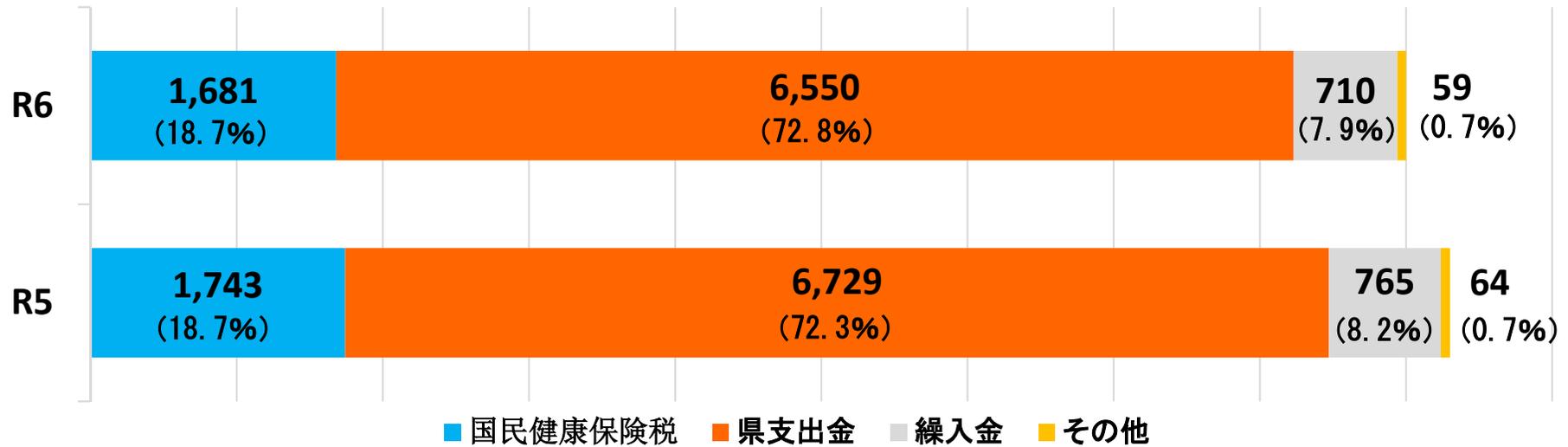
予算総額

単位：百万円



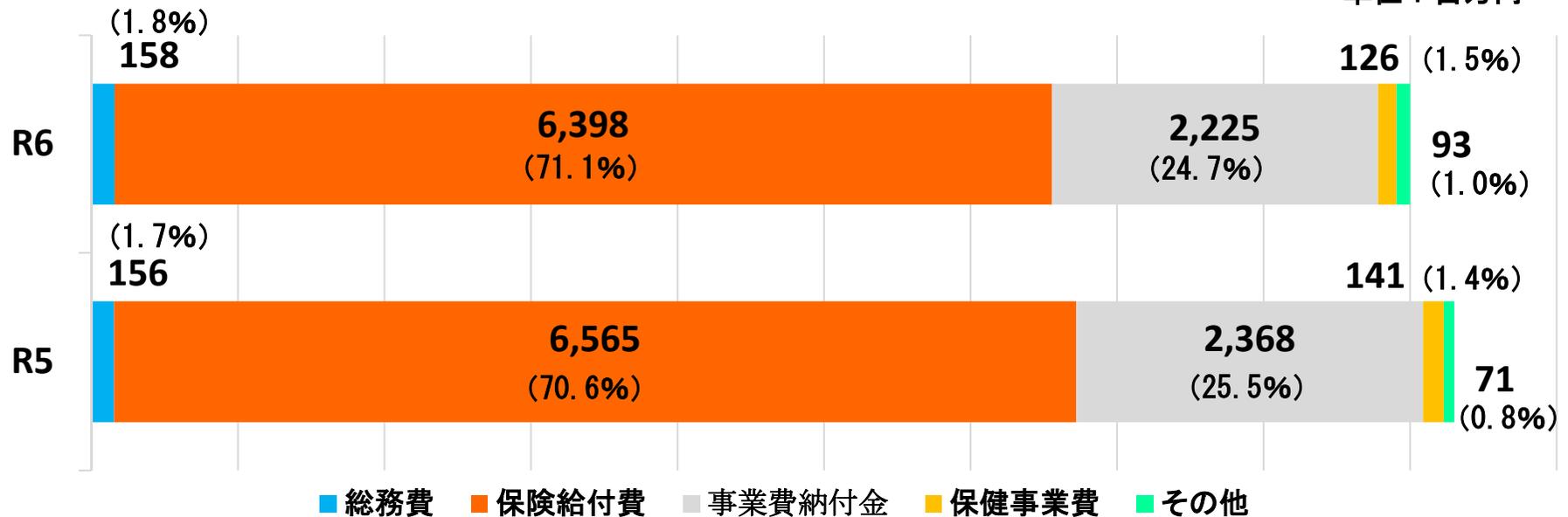
【当初予算額 主要科目別前年比較】
《歳入》

()内は構成割合
単位：百万円



《歳出》

単位：百万円



【主要科目別予算の状況（歳入）】

科目名	予算額 (千円)	増減率 (%)	概要
国民健康保険税	1,680,645	▲3.57	一般被保険者国保税 1,680,572千円 被保険者数の減が減少要因
県支出金	6,550,007	▲2.66	普通交付金:6,368,361千円 被保険者数の減による保険給付 費の減が減少要因
繰入金	710,342	▲7.18	一般会計繰入金:682,559千円 事業費納付金減少に伴う基金繰 入金の減が減少要因

【主要科目別予算の状況（歳出）】

科目名	予算額 (千円)	増減率 (%)	概要
保険給付費	6,398,472	▲2.53	療養諸費:5,544,529千円 被保険者数の減による 医療費の減 が減少要因
事業費納付金	2,224,792	▲6.04	医療給付費分:1,423,595千円 県の試算による減 被保険者数及び医療費の減 が特に医療分に影響
保健事業費	125,822	▲10.54	特定健康診査:73,214千円 被保険者数の減に伴う 健診受診者数の減 が減少要因

【令和6年度国民健康保険制度改正（全国・予算関係分）】

項目	区分	概要
保険料(税)賦課限度額	歳入	基礎(医療)分:据え置き 後期高齢者支援金等分:2万円引き上げ 介護納付金分:据え置き
保険料(税)軽減措置	歳入	軽減判定所得算定時に被保険者数等に乗じる額を引き上げ 5割軽減:29万円⇒29.5万円 2割軽減:53.5万円⇒54.5万円
入院時食事療養費	歳出	入院時食事代の自己負担額を所得区分別に増額 一般・上位所得者:30円増 低所得者:10円または20円増
健康保険証廃止	歳出	健康保険証を廃止しマイナ保険証により資格確認、マイナ保険証を保有しない被保険者に資格確認書を交付(R6.秋施行予定)

②令和4年度特定健診（法定報告）について

○特定健診（括弧内は前年度比）

対象者：13,687人（14,687人） 受診者：5,832人（6,091人）

受診率：42.6%（+1.1p）

県内順位：14位／35市町中（前年度14位）

○特定保健指導

対象者：499人（558人） 終了者：411人（492人）

実施率：82.4%（▲5.8p）

県内順位：2位／35市町中（前年度1位）

《健診結果から見る島田市の特徴》

○県全体を見ても特定健診受診率が徐々に回復してきている

➔ 県平均+1.1p、島田市も+1.1p

○血液中糖分（HbA1c）が高い（糖尿病予備群）人が多い

➔ 健診受診者中、糖尿病予備群（HbA1c 5.6～6.4%）が前年度（58.0%）よりもさらに増加し、62.6%が該当（県内ワースト5位／35市町中）。糖尿病の可能性のある者（HbA1cが6.5%以上）の該当率も8.9%から9.6%に上昇。健診受診者の70%以上が有所見者となっている。

○メタボリックシンドローム該当者・予備群が徐々に増えてきている

➔ 特に60歳代男性の約半数がメタボリックシンドローム該当者・予備群に該当。40～50歳代男性も高該当率。

③静岡県国民健康保険運営方針改定の進捗状況について

【静岡県国民健康保険運営方針改定のポイント】

①事業費納付金及び標準保険料率の算定方法

概要	目標時期
医療費指数反映係数 α を「1」から段階的に引き下げ、「0」とする	令和7年度～令和11年度
賦課方式の統一（3・3・2方式）	令和9年度

②保険料水準統一の考え方

保険料の完全統一を最終目標に段階的に統一を進める

統一段階	統一時期
1. 事業費納付金ベースの統一	令和12年度
2. 標準保険料率の統一	未定
3. 完全統一	未定

④国民健康保険税率設定について

○令和6年度の税率改正の方針

➔令和6年度の税率改正は行わない。

○令和7年度以降の税率改正の方針

- ➔
- ①島田市国保会計の財政状況
 - ②静岡県国民健康保険運営方針の保険料水準の統一方針
 - ③医療分、支援分、介護分の賦課バランス
 - ④被保険者の保険税負担の軽減

改正時期は、①、②を判断指標とし、改正内容は①～④を踏まえて検討を行う。

⑤令和4年度医療費分析の結果について

【島田市国民健康保険の医療費等の特徴】

項目	内容
医療費諸率	県と比較して 受診率が高い 重症化の指標である1件当たり費用額や1日当たり費用額は低い ⇒医療費を上昇させる要因： 受診件数
疾病	費用額の上位5疾病が医療費全体の3割を占める 上位5疾病のうち4疾病が生活習慣病
生活習慣病	県と比較して 糖尿病と高血圧性疾患 で特に 1人当たり費用額が高い 2疾病とも県と比較して 受診率が高い ⇒医療費を上昇させる要因： 受診件数
健診	県と比較して保健指導終了率が高い 県と比較して HbA1c と LDL と eGFR の該当者の割合が高い ⇒ 腎機能関係の検査項目 で受診勧奨値以上の者の割合が高い

【島田市国民健康保険の医療費抑制の課題と対策】

項目	内容
医療費諸率	<p>重症化の傾向が低く受診件数が多いことから全体として軽症の段階で頻繁に受診している ⇒医療費抑制のためには受診件数を適正化する対策が効果的</p>
疾病	<p>費用額の高い疾病の医療費を抑制する必要がある ⇒費用額の高い生活習慣病の医療費を抑制する対策が効果的</p>
生活習慣病	<p>糖尿病と高血圧性疾患の医療費を上昇させる要因(受診件数)への対策が必要 ⇒2疾病の医療費抑制のためには受診件数を適正化する対策が効果的</p>
健診	<p>疾病の予防や早期発見のためには健診の受診者数を増やす必要がある 早期治療のためには受診勧奨者への受診を促す必要がある ⇒腎機能関係の検査項目の受診勧奨の対策が効果的</p>

⑥減塩普及啓発事業の実施状況について

【事業名】

島田市国保 **TE・A** プロジェクト

【目的】

生活習慣病の重症化につながる「脳・心臓・腎臓」の血管を守るため、「**食塩摂取量**」に着目し、生活習慣病予防の基本となる**食習慣の改善**を地域全体で進める**食環境整備**を行う。

【具体的取組】 ※今年度の詳細な取り組み内容は別冊資料3

実施年度	取り組み	連携分野			
		行政	医療	商業	教育
令和4年度（1年目）	・普及、啓発キャラクターの制作 ・減塩、野菜摂取量の増加に関する動画配信	○ ↓	○ ↓		
令和5年度（2年目）	・健康づくりや食環境に関わる地域団体、商工会等との連携 ・商工会・商工会議所、スーパーとの連携 ・若い世代への普及			○ ↓	△
令和6年度（3年目）	・民間企業を巻き込んだ食環境の整備（飲食店、スーパー等との連携・協働）・若い世代への普及啓発 予算額 315千円				○

島田市
緑茶化
計画